

アイ・グリッド・ソリューションズ

新エネ大賞 新エネルギー財団会長賞を受賞！

～独自開発のプラットフォームで実現した分散型太陽光発電による余剰電力循環モデル～

グリーンテックを推進し、グリーンエネルギーが地域をめぐるサステナブルな世界の実現を目指す株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:秋田 智一、以下「アイ・グリッド」)は、一般財団法人新エネルギー財団が主催する「新エネ大賞」の分散型エネルギー先進モデル部門において「新エネルギー財団会長賞」を受賞しましたのでお知らせいたします。



◆「新エネ大賞」について

「新エネ大賞」は、新エネルギーの一層の導入促進と普及及び啓発を図るため、新エネルギーに係る商品及び新エネルギーの導入、あるいは普及啓発活動を広く募集し、そのうち優れたものを表彰することを目的としています。

この度、アイ・グリッドの『独自開発のプラットフォームで実現した分散型太陽光発電による余剰電力循環モデル』が分散型新エネルギーの先進的な取り組みとして評価され、「新エネルギー財団会長賞」の受賞となりました。

この取り組みは当社が全国に保有する施設の屋根を活用した分散型太陽光発電所を独自の AI 予測技術を用いて統合管理し、再生可能エネルギーの創出を最大化し、電力の最大利用を促進している仕組みです。

令和4年度 新エネ大賞

(受賞名)
新エネルギー財団会長賞



(受賞件名)
独自開発のプラットフォームで
実現した分散型太陽光発電に
よる余剰電力循環モデル

(分散型新エネルギー先進モデル部門)
主催:一般財団法人新エネルギー財団

◆社会課題解決テクノロジーを活用し、グリーンエネルギーがめぐる世界の実現を目指す

エネルギーは気候変動の原因とも言われている CO2 排出にも大きく関与し、2050 年のカーボンニュートラルに向けて再生可能エネルギー利用率を高めることは重要な役割となっています。

アイ・グリッドでは、AI・IoT を活用して身近なところで生まれた「グリーンエネルギー」が地域をめぐる世界の実現を目指しています。現在推進している分散型太陽光発電所のひとつひとつは小さい規模ですが集約することで大きなエネルギーを生み出します。

今取り組んでいる事業を広げながら、テクノロジーを活用しお客と共に脱炭素社会実現に向け再生可能エネルギーの促進に今後も積極的に取り組んでまいります。

■株式会社アイ・グリッド・ソリューションズについて

アイ・グリッド・ソリューションズは、仮想発電所 (VPP) 事業、エネルギーマネジメント事業、電力供給事業を通じた脱炭素ソリューションを統合的に展開するエネルギーサービスプロバイダー。

グリーンテックを推進し、グリーンエネルギーが地域をめぐるサステナブルな世界の実現を目指します。

- 社名:株式会社 アイ・グリッド・ソリューションズ
- 本社所在地: 〒102-0083 東京都千代田区麴町 3-7-4
- 代表者:代表取締役社長 秋田 智一
- 資本金:3,530 百万円(2022 年 6 月 28 日時点)※資本剰余金含む
- 従業員:100 名
- 設立:2004 年 2 月
- 会社 HP:<https://www.igrid.co.jp/>
- オウンドメディア「グリラボ」:<https://gurilabo.igrid.co.jp/>